みつかる。
つながる。
よくなっていく。

２０２６年１０月１日

# 幼保連携型認定こども園　西神戸 YMCA 保育園 10 月えんだより

10 月聖句：「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」　＜ローマの信徒への手紙 12 章 15 節＞

酷暑の夏が過ぎたと思えば、9 月は異例の日照時間の短さと長雨の続く日々となりました。秋雨も大切な恵みの雨ですが、全国各地では豪雨による被害も続いています。また、朝夕と日中の寒暖差も大きく、体調を崩しやすい時期です。どうぞご家族皆さま、健康に気をつけてお過ごしください。

そのような中でも、保育園では運動会あそびが始まりました。3 園の子どもたちが YMCA 保育園の園庭に集まり、元気いっぱい身体を動かしています。何度かリハーサルも行いますが、それは保育者の動きや進行を確認するためのものです。子どもたちにとっては、一回一回が真剣勝負であり、毎回が本番です。特にゆり組のリレーでは、勝ったり負けたりを繰り返しながら、子どもたち自身が工夫や作戦を考える姿が見られます。「今日は負けたけれど、次はこうしてみよう！」「もっと速く走れるように頑張る！」そんな前向きな声も聞こえてきます。また、異年齢の友だちからの応援も大きな力となっています。

10 月は年度の折り返し地点でもあります。4 月から半年が経ち、夏のキャンプの経験や日々の生活を通して、友だちや保育者との信頼関係が育まれてきました。「一緒にいてくれる仲間がいる」という安心感が、一人ひとりの挑戦する力や仲間とのつながりを支えています。運動会はゴールではありません。子どもたちが日々のあそびの中で培ってきた成長の過程を、保護者の皆さまと共に喜び、分かち合うための大切な機会です。それぞれのペースで歩む子どもたちの姿を温かく見守り、その成長を共に喜び合うふれあいうんどうかいとなればと願っています。

さて、今月の聖句は、使徒パウロがローマの教会の人々に宛てて書いた手紙の一節です。当時の教会には、職業や身分、育ってきた背景の異なるさまざまな人々が集まっていました。だからこそパウロは、その少し前の箇所で「尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい」と勧めています。それは現代の私たちにも通じる言葉です。互いに異なる経験や価値観を持つ中で、相手の気持ちを理解し合うことは決して簡単ではありません。しかし、まず相手の喜びや悲しみに心を向けようとすることが、人と人とをつなぐ大切な一歩なのだと思います。

先日、災害支援活動として熊本県八代市で避難所運営に携わった保育園職員から報告を聞く機会がありました。避難所には、ある日突然、大切な人や住まい、これまでの生活を失わざるを得なかった方々がおられます。その苦しみや悲しみをすべて理解することはできません。しかし、「今どのような思いで過ごしておられるのだろう」と心を寄せ、耳を傾けながら寄り添うことの大切さを改めて感じたとのことでした。支援することはもちろん大切ですが、それ以上に、その方の喜びや悲しみを共に受け止めようとする姿勢が求められます。それこそが、「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」という聖句の実践ではないでしょうか。

保育園でも同じです。友だちの成功を一緒に喜ぶこと。悔しさや悲しさに寄り添うこと。そのような経験を通して、子どもたちは他者を思いやる心を育んでいきます。神さまが一人ひとりをかけがえのない存在として愛してくださっていることを覚えながら、今月も子どもたちの喜びや悔しさ、挑戦や成長に寄り添い、保護者の皆さまと共にその歩みを分かち合っていきたいと思います。

年主題：「しゅイエスとともに」
年主題聖句：「主があなたと共におられる。」　（ルカによる福音書１章２８節）

| 10 月 | 乳児（0,1,2 歳児） | 幼児（3,4,5 歳児） |
|---|---|---|
| 月主題 | たのしいね／やったぁ | やってみよう／交わって、楽しんで |
| 月の願い | ・保育者の祈りや賛美を真似ようとする<br>・友だちに関心をもち、一緒が楽しいと感じる<br>・少しずつ変わっていく季節を感じる<br>・保育者や友だちと一緒に祈ることやさんびかを歌うことを喜ぶ<br>・自分の好きなことをじっくりと取り組み、友だちの遊びにも関心をもつ<br>・変化する季節の中で、散歩や戸外での遊びを楽しむ | ・大切な体と心を神さまが創ってくださったことを喜ぶ<br>・歌う、踊る、作る、走るなどの 4，5 歳児の行動に憧れ、興味をもち同じようにやりたい気持ちが芽生え、繰り返し取り組もうとする<br>・気持ちの良い風を感じながら、体を動かし外遊びを楽しむ<br>・神さまが一人ひとりを愛し、それぞれに異なる賜物を与えられていることに感謝する<br>・友だちと意見を交わし合う中で関係が深まり、遊びの楽しさやおもしろさ、また難しさを感じる<br>・秋の自然物の形や大きさ、手触りなど季節の変化(雲や風、虫の声、花の香りなど)を五感で感じ、興味をもって遊び、おもしろさや不思議さを楽しむ |
| 讃美歌 | どんどこどんどこ　こども改 106 | わたしたちのたべるもの　こども改 102 |